



北海道鷹栖高等学校運営協議会 コミュニティ・スクール通信

令和7年度第1号

令和7年6月9日
北海道鷹栖高等学校
学校運営協議会事務局

本校では、今年度よりコミュニティ・スクールを導入しました。
コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）は、「学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組むことが可能となる『地域とともにある学校』への転換を図るための有効な仕組みです。コミュニティ・スクールでは、学校運営に地域の声を積極的に生かし、地域と一体となって特色ある学校づくりを進めていくことができます。なお、学校運営協議会を設置する学校のことを『コミュニティ・スクール』と呼びます。」（北海道教育委員会ホームページより）

今年度は、6月6日に第1回学校運営協議会（委員15名）を開催しました。、10月に第2回、2月に第3回を開催する予定です。

第1回の内容



○6月6日（金）18:00～19:00 本校会議室

最初に辞令交付、委員の自己紹介を行い、会長・副会長の選出を行いました。初回であることから、学校運営協議会の役割・組織を確認したのち、校長から学校経営方針について説明があり承認がされました。次に教頭から本校の教育活動について説明がありました。協議の場では、委員の皆さんより以下の意見・感想が出されました。

【意見・感想】

- ・上級学校の希望者が多くなっている。大事なことはいろんな情報を得ること。生徒に情報が行き渡って、自ら考えられる機会が提供できればと思う。
- ・鷹栖高校の特色・強みを外に発信していけるのではないかと感じる。
- ・小規模校だからできることがあると思う。
- ・探究の活動が将来に影響・刺激を与えていると思う。これからも支援していきたい。
- ・鷹栖高校は小規模。生徒も先生もお互い全員が全員のことを分かっている。勉強もマンツーマンなど小規模だからできることがある。これからも継続して欲しい。
- ・高校無償化で高校選択の仕方が変わってくると思う。鷹栖高校は福祉に特化しているのは魅力的。もっとPRしていくと鷹栖高校志望者が増えていくのではないかと。
- ・地域の活動に協力いただければ、町民も鷹栖高校に対しての支援の力が大きくなると思う。
- ・「こうあらねばならない」と大人が言うてはだめだと思う。学力ばかりではない。
- ・コロナが終息に向かい、学校と地域の関わりが子ども達の財産になると思う。生徒には、町外出身者でも鷹栖町のことを分かって欲しい。挨拶のきちんとできる鷹栖高校生がたくさんいる。養護学校とも連携とりながらいろんな経験をしてもらいたい。
- ・支援できることをしていきたい。
- ・町に鷹栖高校があることで、たくさんよいことがある。給食と制服の検討はどうか。制服について生徒からのアンケートはどうか。
- ・鷹栖高校の応援団でいて欲しい。学校を助けることが地域の活性化につながる。自分事としてアイディアを出して欲しい。社会総がかりで子ども達の成長・学びを支援していくことが大事とされている。

今後とも、鷹栖高等学校へのご支援・ご協力のほどよろしくお願いいたします。